

Book for New Students
2023
Selected by TMU Faculty Members



都立大教員が新入生に贈る図書

2023



新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。

本学の先生方からみなさんにぜひ読んでほしいというお薦めの図書リストが届いています。新入生のみなさんの興味関心を高め、新たな価値観を見つけるきっかけとなる良書揃いです。これらの図書を入口として、ぜひ図書館をたくさん活用してください！

- ◇ 全て貸出可能です。
- ◇ 貸出中の本は予約できます。



Books for New Students 2023

人文社会学部 人文学科哲学教室	教員	新しく学ぶ西洋哲学史
		古代哲学入門 — 分析的アプローチから ソクラテスの思い出
人文社会学部人文学科 歴史学・考古学教室	山田康弘先生	情報生産者になる
法学部法学科法律学コース	尾崎悠一先生	高校生のための法学入門 — 法学とはどんな学問なのか
		法学を学ぶのはなぜ? — 気づいたら法学部、にならないための法学入門 コンテナ物語 — 世界を変えたのは「箱」の発明だった
	教員	テロ
経済経営学部 経済経営学科	井澤 龍先生	実証分析のための計量経済学 — 正しい手法と結果の読み方 社会科学と社会政策にかかわる認識の「客観性」
	教員	クリエイティビティ — フロー体験と創造性の心理学
理学部数理科学科	村上弘先生	フェルマ予想の峻嶺 I, II, III
都市環境学部地理環境学科	教員	世界がわかる地理学入門 — 気候・地形・動植物と人間生活
都市環境学部 都市政策科学科	山本薫子先生	アンダーコロナの移民たち — 日本社会の脆弱性があらわれた場所
		差別はたいてい悪意のない人がする — 見えない排除に気づくための10章 プリズン・サークル
		ポスト・ヒューマン誕生 — コンピュータが人類の知性を超えるとき 未来の私たち — 21世紀の科学技術が人の思考と感覚に及ぼす影響 樹木たちの知られざる生活 — 森林管理官が聴いた森の声
システムデザイン学部 機械システム工学科	教員	ポスト・ヒューマン誕生 — コンピュータが人類の知性を超えるとき 未来の私たち — 21世紀の科学技術が人の思考と感覚に及ぼす影響 樹木たちの知られざる生活 — 森林管理官が聴いた森の声
		ポスト・ヒューマン誕生 — コンピュータが人類の知性を超えるとき 未来の私たち — 21世紀の科学技術が人の思考と感覚に及ぼす影響 樹木たちの知られざる生活 — 森林管理官が聴いた森の声
健康福祉学部作業療法学科	小林法一先生	学校に作業療法を — 「届けたい教育」でつなぐ学校・家庭・地域
	教員	ナースコール! — 戦う蓮田市リハビリ病院の涙と夜明け
健康福祉学部放射線学科	教員	量子力学で生命の謎を解く
学術情報基盤センター	安藤大地先生	「原因と結果」の経済学 — データから真実を見抜く思考法
		チャーリー・パーカーの技法 — インプロヴィゼーションの構造分析
		MPC impact! — テクノロジーから読み解くヒップホップ
		行動データの計算論モデリング — 強化学習モデルを例として
		エージェント理論による企業行動分析 — 遺伝的プログラミング・アプローチ

新しく学ぶ西洋哲学史

荻野弘之, 山本芳久, 大橋容一郎,
本郷均, 乗立雄輝 著

ミネルヴァ書房 2022年

資料ID : 10005995918
<https://tmuopac.lib.tmu.ac.jp/webopac/BB02413772>



最新の西洋哲学史の入門書。古代から現代に至る主な哲学者の重要学説を網羅し、わかりやすく解説している。特に第1部「古代ギリシア・ローマの哲学」はテキスト箇所の指定もあるので、さらに深めて学ぶのに役立つ。

人文社会学部人文学科哲学教室 教員

古代哲学入門 — 分析的アプローチから

クリストファー・シールズ著
文景楠, 松浦和也, 宮崎文典,
三浦太一, 川本愛 訳

勁草書房 2022年

資料ID : 10005947984
<https://tmuopac.lib.tmu.ac.jp/webopac/BB02411580>



特に古代哲学と現代英米哲学の両方に関心をもつ学生にとっては刺激になる入門書。プラトンやアリストテレスのテキストの細かな読解（アイデア論など）もあるので、専門的解釈の仕方を学ぶ参考になる。

人文社会学部人文学科哲学教室 教員

ソクラテスの思い出

クセノフォン 著
相澤康隆 訳

光文社 2022年
光文社古典新訳文庫

資料ID : 10005966355
<https://tmuopac.lib.tmu.ac.jp/webopac/BB02413903>



哲学者ソクラテスは永遠の〈謎〉である。プラトンの対話篇に加えて、もう一人の弟子クセノフォンが彼をどう描いたかを知ることによって〈謎〉の解明に近づけるかもしれない。本書の平明な訳文はその手助けとなるだろう。

人文社会学部人文学科哲学教室 教員



情報生産者になる

上野千鶴子 著

筑摩書房 2018年
ちくま新書

資料ID : 10005352888
[https://tmuopac.lib.tmu.ac.jp/
webopac/BB02352044](https://tmuopac.lib.tmu.ac.jp/webopac/BB02352044)



大学生としての問いの立て方、研究の仕方、論文の書き方など、論理的な文章を書くためのノウハウが書かれている。各種レポート、卒業論文の提出が必須とされる学生に一読をおすすめしたい。

人文社会学部人文学科歴史学・考古学教室
山田康弘先生

高校生のための法学入門 — 法学とはどんな学問なのか

内田貴 著

信山社 2022年
民法研究レクチャーシリーズ

資料ID : 10006014220
[https://tmuopac.lib.tmu.ac.jp/
webopac/BB02415334](https://tmuopac.lib.tmu.ac.jp/webopac/BB02415334)



法学（法律学）は、ほとんどすべての学生にとって大学で初めて学ぶ学問です。ルールや法が社会や国にとって重要であること、必要であることは言うまでもないことですが、法学というルールや法に関する学問がどのような学問か（法やルールを丸暗記することではありません）はあまりピンとこないと思います。著名な民法研究者（東京大学名誉教授）であるのみならず、法務省参与として平成29年民法改正（債権法改正と呼ばれる大改正です）にも当たった著者が、法学とはどのような学問について、明治時代におけるわが国の法学の成立を主要な素材の1つとして、当時高校生との対話を通じて説明するのが本書です。明治時代初期に西洋の法や法学を“輸入”（継受）するという一大国家プロジェクトについてより本格的な書籍としては内田貴『法学の誕生』（筑摩書房、2018年）がありますので、ご関心があれば、あわせて読んでみてください。「高校生のための」というタイトルにはなっていますが、新入生の皆さんにとっても有益な文献だと思います。

法学部法学科法律学コース 尾崎悠一先生

法学を学ぶのはなぜ？ — 気づいたら法学部、にならないための法学入門

森田果 著

有斐閣 2020年

資料ID : 10005604519
[https://tmuopac.lib.tmu.ac.jp/
webopac/BB02384934](https://tmuopac.lib.tmu.ac.jp/webopac/BB02384934)



こちら、（主として高校生向けに）法学とはどのような学問かを扱う書籍です。法やルールの必要性や機能性、法の解釈や適用という法の使い方（法は“道具”なので、その使い方が重要です）についての説明を通じて法学をなぜ学ぶのかを明らかにします。また、後半では、様々な“先輩”（主に研究者や弁護士です）が「私がこれを学ぶ理由」という形でメッセージを寄せていますので、それらを通じて、法学を学ぶことの意味を考えてもらえればと思います。本格的に法学の学習を進めていく中では、難しい概念やよくわからない議論もたくさん出てくるのですが、そのようなものにチャレンジする上でも、なんのために法・ルールがあるのか、法学は何をする学問なのかを知っておくのは有益だと思います。副題は「気づいたら法学部、にならないための法学入門」ですが、なんとなく法学部に入学した人にもおすすめです。

法学部法学科法律学コース 尾崎悠一先生



コンテナ物語 — 世界を変えたのは「箱」の発明だった 増補改訂版

マルク・レビンソン 著
村井章子 訳

日経BP社 2019年

法学は、人や社会を対象とする学問です。社会の常識や価値観は常に変化していきますし、科学技術・通信技術の進歩は社会の変化を加速していきますので、法学を勉強するにあたっては、人や社会（の変化）、科学技術等の進展への関心も必要です。たとえば、法学の中でもビジネス・ローと呼ばれる領域は最先端のビジネスとも接点を持つとても刺激的で興味深い分野であり、その学修にあたっては、ビジネスの進展や変化に関する関心を持ってほしいと思っています。本書は、経済活動のインフラとも言える物流・運送ビジネス（コロナ禍で様々な活動が制限される中で社会を維持するための物流の重要性は改めて認識されたと思います）に革命をもたらしたコンテナ輸送を扱うものです。運送業（特に、国際運送・国際貿易）の高度化をもたらしたコンテナ輸送の導入は「コンテナ革命」とも呼ばれるものであり、運送に関する法制度も大きな影響を受けました。法制度について勉強する前に、ビジネスの変化、社会の変化を感じてもらえればと思います。

法学部法学科法律学コース 尾崎悠一先生

資料ID : 10006014239
<https://tmuopac.lib.tmu.ac.jp/webopac/BB02416240>



テロ

フェルディナンド・フォン・シーラッハ 著
酒寄進一 訳

東京創元社 2016年

164人の乗客を乗せた旅客機がハイジャックされ、7万人の観客がいるスタジアムに突入しようとしている。旅客機を独断で撃墜した空軍少佐の刑事責任を問う裁判を描いた戯曲。164人を犠牲にして7万人を救った少佐は刑事責任を問われるべきか？

法学部法学科法律学コース 教員

資料ID : 10006014247
<https://tmuopac.lib.tmu.ac.jp/webopac/BB02299206>



実証分析のための計量経済学 — 正しい手法と結果の読み方

山本勲 著

中央経済社 2015年

経済学等で習っていく統計的手法で何ができるのか、学習のモチベーションを上げる本です。何をしているのか再確認したくなった方にも是非。

資料ID : 10004918464
<https://tmuopac.lib.tmu.ac.jp/webopac/BB02271793>



経済経営学部経済経営学科 井澤龍先生

社会科学と社会政策にかかわる認識の「客観性」

マックス・ヴェーバー 著
富永祐治、立野保男 訳
折原浩 補訳

岩波書店 1998

我々は経済や社会を分析しようとするときに、色眼鏡なしにデータをみることが出来るのでしょうか？出来ないのであれば、何をする必要がありますのでしょうか？社会科学における最重要書の1つであり、私の1番好きな本です。ぜひ手に取ってみてください。

資料ID : 015925566
<https://tmuopac.lib.tmu.ac.jp/webopac/BB00670402>



経済経営学部経済経営学科 井澤龍先生

クリエイティビティ — フロー体験と創造性の心理学

M.チクセントミハイ 著
浅川 希洋志、須藤 祐二、石村 郁夫 訳

世界思想社 2016

経済経営学部経済経営学科 教員

資料ID : 10006019279
<https://tmuopac.lib.tmu.ac.jp/webopac/BB02298710>





フェルマア予想の峻嶺 I, II, III

松田道彦 著

NextPublishing Authors Press
2019

資料ID : 10006023529
<https://tmuopac.lib.tmu.ac.jp/webopac/BB02417878>
資料ID : 10006023537
<https://tmuopac.lib.tmu.ac.jp/webopac/BB02417879>
資料ID : 10006023545
<https://tmuopac.lib.tmu.ac.jp/webopac/BB02417880>



解決に長年を要したフェルマア予想
に付随した歴史を書いた本。

理学部数理科学科 村上弘先生

世界がわかる地理学入門 — 気候・地形・動植物と人間生活

水野一晴 著

筑摩書房 2018年
ちくま新書

資料ID : 10005306361
<https://tmuopac.lib.tmu.ac.jp/webopac/BB02362462>



豊富な図版・写真とともに、世界の自然環境と
人々の暮らしが理解できる一冊です。海外旅行に
出かけた時、その地域の自然や人間社会の見方が
変わります。海外旅行や留学に興味関心を持って
いる人は是非ご一読ください。

都市環境学部地理環境学科 教員

アンダーコロナの移民たち — 日本社会の脆弱性があらわれた場所

鈴木江理子 編著

明石書店 2021年

資料ID : 10006014253
<https://tmuopac.lib.tmu.ac.jp/webopac/BB02395677>



2020年春以降のコロナ禍でとりわけ経済的、社会的打撃を受けた人々の中に日本に暮らす外国人労働者、移民たちがいた。本書は複数の著者が執筆を担当し、それぞれの章では外国人・移民をめぐる状況の中で何が起きているのか、なぜそのようなことが起きているのか、を具体的に、かつ社会全体の中で位置付けて説明し、解説する。実際には、コロナ禍によって急に問題が生じたのではなく、コロナ禍の前から構造的に存在していた（しかし多くの人々が気づいていなかった）問題がさらに悪化して顕在化したのである。外国人・移民をめぐる課題、問題に関心がある人にお勧め。

都市環境学部都市政策科学科 山本薫子先生

差別はたいてい悪意のない人がする — 見えない排除に気づくための10章

キム・ジヘ 著
尹怡景 訳

大月書店 2021年

資料ID : 10006009220
<https://tmuopac.lib.tmu.ac.jp/webopac/BB02398107>



著者はマイノリティ、人権、差別論などを専門とする研究者。平易なことばで、しかし問題の本質をはっきり指摘する本書は、韓国でベストセラーとなった。自分は差別などしていないと普段は思っている、気づかないうちに他人を傷つける言動をとっているかもしれない。その際に、自分はどのような立ち位置で発言していたのだろうか。そこで何に気づけなかったのだろうか。同じことばでもマジョリティとマイノリティでは受け止め方、傷つき方も異なる。そうした事柄の本質を知るとは、自分とは異なる属性を持つ人々とどのようにつながることができるか、どのようにすれば真の意味で互いを尊重して生きてことができるか、を知ることでもある。

都市環境学部都市政策科学科 山本薫子先生



プリズン・サークル

坂上香 著

岩波書店 2022年

受刑者が互いの体験に耳を傾け、本音で語りあうことで自身の罪に向き合い、加害のみならず自身が受けてきたいじめや虐待など被害の経験をも言語化し、自分の言葉や感情を取り戻す。そのことで受刑者の真の意味での更生を目指す、回復共同体（TC）という刑務所内でのプログラムを取材した、ドキュメンタリー映画（2020年公開）の製作過程をまとめた一冊。受刑者たちの心情変化、感情の回復がなされる過程は、これまでの思考や行動のパターン（特に暴力）が「学び落とされる」過程でもある。受刑者でなくとも、物理的な暴力を振った経験がなくとも、同じような思考や行動のパターンは多くの人々が知らないうちに身につけてしまっている（学んできてしまっている）ものでもある。その意味で、本書に登場する受刑者たちは決して遠い存在ではない。人は何歳になっても変わることができるが、そのためには真に物事の本質を突き詰めて自身の思考や行動を省みる必要がある。それがいかに困難な作業であるか、そして個人だけでなく社会全体が変わらないと真の更生には繋がらないことも本書は示唆する。

都市環境学部都市政策科学科 山本薫子先生

資料ID : 10005884476
[https://
tmuopac.lib.tmu.ac.jp/
webopac/BB02406388](https://tmuopac.lib.tmu.ac.jp/webopac/BB02406388)



ポスト・ヒューマン誕生 — コンピュータが人間の知性を超えるとき

レイ・カーツワイル 著

井上健 監訳

小野木 明恵,

野中香方子, 福田 実 共訳

日本放送出版協会

2007年

スキャナーやシンセサイザーなどを発明し、20世紀のエジソンとよばれるレイ・カーツワイルは、遺伝学・ロボット工学・ナノテクノロジーの技術革新により、2045年にシンギュラリティ（技術的特異点）が訪れると予測する。ロジカルな思考の裏には、いつ、どの技術にどのような革新が起こるのかを正確に予測し、未来の複数の技術を試行的にインテグレーションした上で、一つの新しい革新的なシステムとして想像し、創造できるデザインに落とし込める能力がある。このような思考と試行、想像と創造ができる学生になっていただきたい。

システムデザイン学部機械システム工学科 教員

資料ID : 10000708132
[https://tmuopac.lib.tmu.ac.jp/
webopac/BB00667321](https://tmuopac.lib.tmu.ac.jp/webopac/BB00667321)



未来の私たち — 21世紀の科学技術が人の思考と感覚に及ぼす影響

スーザン
・グリーンフィールド 著
伊藤 泰男 訳

NPO
科学技術社会研究所
2008年

資料ID : 10006014270
[https://
tmuopac.lib.tmu.ac.jp/
webopac/BB00882052](https://tmuopac.lib.tmu.ac.jp/webopac/BB00882052)



現在の科学技術の延長上にあるであろう21世紀の未来に警鐘を鳴らす。現在、時代は仮想現実から、五感に刺激を与える超現実や超臨場、さらには、直接、脳に刺激を与える技術へと革新が進む。一方、新型コロナウイルス感染により味覚や嗅覚に異常が生じるという報告もあり、今後、直接、脳に等価な刺激を与えるような対処が提案されるかもしれない。果たして、私たちは、美味しいと感じる、いや、錯覚するのだろうか？ この書籍は、私たちが目指すべき未来の科学技術のあり方を考えさせられる1冊である。

システムデザイン学部機械システム工学科 教員

樹木たちの知られざる生活 — 森林管理官が聴いた森の声

ペーター
・ヴォールレーベン 著
長谷川 圭 訳

早川書房 2017年

資料ID : 10005160439
[https://
tmuopac.lib.tmu.ac.jp/
webopac/BB02351644](https://tmuopac.lib.tmu.ac.jp/webopac/BB02351644)



地中は、光ファイバーのような菌糸のネットワークを介して木と木が繋がり、害虫や干ばつなどの情報を伝え合っている。まるで、森全体が巨大なシステムのようなものである。新鮮な発見に共感し、大自然というシステムと共存、共生するために、もっともっと森の声を聴いて欲しい。

システムデザイン学部機械システム工学科 教員



学校に作業療法を — 「届けたい教育」でつなぐ学校・家庭・地域

仲間知穂 著
こども相談支援センター
ゆいまわる 編著

クリエイツかもがわ 2019年

資料ID : 10006019287
[https://tmuopac.lib.tmu.ac.jp/
webopac/BB02362056](https://tmuopac.lib.tmu.ac.jp/webopac/BB02362056)



リハビリテーションが目指す、ノーマライゼーションあるいはソーシャルインクルージョンの実現に向けた活動が書かれている。本の舞台は学校であるが、病院・施設を含むあらゆる地域のリハビリテーション関係者に示唆をあたえる内容である。

健康福祉学部作業療法学科 小林法一先生

ナースコール! — 戦う蓮田市リハビリ病院の涙と夜明け

川上途行 著

ポプラ社 2018年
ポプラ文庫

資料ID : 10006014261
[https://tmuopac.lib.tmu.ac.jp/
webopac/BB02386559](https://tmuopac.lib.tmu.ac.jp/webopac/BB02386559)



現役医師が描くリハビリ病院の話です。この小説を通して、リハビリテーション病院で、リハビリテーション専門職がどのような仕事をしているのか、どのようにチーム医療をしているのかについてイメージしやすくなると思います。

健康福祉学部作業療法学科 教員

量子力学で生命の謎を解く

ジム・アル=カリーリ,
ジョンジョー・マクファデン 著
水谷淳 訳

SBクリエイティブ 2015年

資料ID : 10006019295
[https://tmuopac.lib.tmu.ac.jp/
webopac/BB02262962](https://tmuopac.lib.tmu.ac.jp/webopac/BB02262962)



著しい進歩を見せている量子生物学を紹介した本。量子力学によってこれまでわからなかった生命現象の謎を最新の成果と今後の可能性を紹介している。生物学だけではなく、あらゆる分野の科学好きの学生に読んでほしい。

健康福祉学部放射線学科 教員

「原因と結果」の経済学 — データから真実を見抜く思考法

中室牧子、津川友介 著

ダイヤモンド社 2017年

資料ID : 10004699023
[https://tmuopac.lib.tmu.ac.jp/
webopac/BB02311771](https://tmuopac.lib.tmu.ac.jp/webopac/BB02311771)



情報リテラシー実践Iの統計単元の受講の時にぜひ読んでほしい一冊。「そもそも『違う』『比較する』とは、何と何を比較して違うことを考えなければならないのか」という統計的手法を学ぶ前の大前提を、具体例を出しながら非常に読みやすい形で紹介している。

学術情報基盤センター 安藤大地先生

チャーリー・パーカーの技法 — インプロヴィゼーションの構造分析

濱瀬元彦 著

岩波書店 2013年

資料ID : 10006019310
[https://tmuopac.lib.tmu.ac.jp/
webopac/BB02236965](https://tmuopac.lib.tmu.ac.jp/webopac/BB02236965)



音楽の専門書なので読むのには音楽的知識を要するが、ジャズだけではなくポストロックに興味がある学生さんにも読んでいただきたい一冊。ともすればアドリブソロの解説は精神論や社会学的な分析になりがちであるが、本書ではモダンジャズの創始者であるチャーリー・パーカーのアドリブソロの譜例を挙げながら、音楽的な語法で極めて具体的に解説を行なっている。「ジャズは音高選択が複雑な方向に行ったのに、なぜロックはリズムのみしか複雑化していないのか」を考えるきっかけになる。

学術情報基盤センター 安藤大地先生

MPC impact! — テクノロジーから読み解くヒップホップ

大島純 著

リットーミュージック
2020年

資料ID : 10006019302
[https://tmuopac.lib.tmu.ac.jp/
webopac/BB02416258](https://tmuopac.lib.tmu.ac.jp/webopac/BB02416258)



「テクノロジーが新たな芸術を作る」ということは実はAI以前から行われていたということを実感できる書籍。ヒップホップに興味がある学生さんは、そのテクノロジー的バックグラウンドにぜひ触れてほしい。

学術情報基盤センター 安藤大地先生

行動データの計算論モデリング — 強化学習モデルを例として

片平健太郎 著

オーム社 2018年

資料ID : 10005183648
[https://tmuopac.lib.tmu.ac.jp/
webopac/BB02353613](https://tmuopac.lib.tmu.ac.jp/webopac/BB02353613)



専門書なので理系の学生さんにお勧めしたいが、経済・経営の学生さんもぜひ取り組んでほしい一冊。最近では深層学習の発達で「AIは実は思考はしてないし、人間には中身は分からないが、うまく動けばいいじゃん」というAIが多いが、人間の選択行動を例に「人間と同じように思考するAIとはどのようなものか」を考えることができる。

学術情報基盤センター 安藤大地先生

エージェント理論による企業行動分析 — 遺伝的プログラミング・アプローチ

時永祥三, 池田欽一 著

白桃書房 2005年

資料ID : 10006023551
[https://tmuopac.lib.tmu.ac.jp/
webopac/BB00911814](https://tmuopac.lib.tmu.ac.jp/webopac/BB00911814)



「行動データの計算論モデリング — 強化学習モデルを例として」を読むことができたなら、次に取り組んでほしい一冊。同じく専門書なので理系の学生さん向け。「AIが人間と同じように判断できる」と主張するためには「何を基準に人間と同じなのか」を人間の経済活動の具体例を挙げながら論じている。

学術情報基盤センター 安藤大地先生

都立大教員が新入生に贈る図書2023

2023年4月発行
東京都立大学図書館本館
<https://www.lib.tmu.ac.jp/>